

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 川崎リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 九曜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科 (新課程)	夜・通信	84 単位	9 単位	
	作業療法学科 (新課程)	夜・通信	86 単位	9 単位	
医療専門課程	理学療法学科 (旧課程)	夜・通信	78 単位	9 単位	
	作業療法学科 (旧課程)	夜・通信	80 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 川崎リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 九曜学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2018.3.31～ 2021.3.30	学園運営に係る意見 聴取
非常勤	学校法人(他法人) 理事	2018.3.31～ 2021.3.30	学園運営に係る意見 聴取
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 川崎リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 九曜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>例年1月に次年度の授業担当者を決定する。カリキュラム・ポリシーをもとに、すべての授業担当者が現行の授業計画書(シラバス)を確認し、次年度に向けた授業計画を考え、修正する。</p> <p>全授業科目の授業計画を取りまとめ、開講年度の4月にホームページにて公表している。</p> <p>尚、授業計画書(シラバス)は共通のフォーマットを利用しており、記載内容は以下の通りである。</p> <p>科目名、担当者、授業形態、開講年次・学期、単位数、時間数、実務経験のある教員等による授業科目か否か、授業のねらい・到達目標、講義概要、授業計画・学習の主題、学習方法・課題、成績評価方法、教科書・授業資料、参考書、準備学習等、担当者からのメッセージ、担当教員への連絡方法。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/syllabus2020-1.pdf</p> <p>https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/syllabus2020-2.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の単位は各学年における授業科目の授業終了後(多くは各学期末)に行う定期試験に合格した者に対して、その取得を認定する。ただし、各授業科目ごとにその授業時間の3分の1以上を欠席した者は、試験を受けることができない。</p> <p>試験は主に筆記試験である。実習科目では出席状況、実習の成果、実技試験やレポート課題の成果で評価するものもある。</p> <p>試験は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。60点未満の場合は、再試験を実施する。再試験が60点以上であれば、合格として単位取得を認め、たとえ再試験で60点以上の点であっても、この科目の成績は60点とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の成績はすべて100点満点の点数で示される。 学生が履修した全科目の平均点と、その平均点の学科内順位を成績評価の客観的指標として用いる。 個々の学生には、履修した全科目の点数とその平均点、全科目平均点の学科内順位を成績表として配布している。 客観的指標の算出方法はホームページにて公表する。</p> <p>1学期末(7月)と2学期末(12月)に成績判定委員会を、3学期末(3月)に進級判定委員会を開催し、全学生の成績を把握・検討している。これらの会議で成績が不良であると認めた学生に対して、本人と保護者に文書で通知し、個別指導を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/seisekihyoka.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)を定めており、これをホームページにて公表している。</p> <p>ディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラム・ポリシーを設定し、教育課程を編成している。</p> <p>授業科目の成績評価の方法は上記2.に示す通りである。 進級基準を定めており、必要な科目数以上の単位を取得している者が進級できる。 卒業は、学則に定められた単位を取得した者に対し、認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/sotsugyonintei.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 川崎リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 九曜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/taisyakutaisyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/keisansyo.pdf
財産目録	https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/mokuroku.pdf
事業報告書	https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/jigyohoukoku_r1.pdf
監事による監査報告（書）	https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/houkoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	理学療法学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	(新課程) 3150 / 116 単位時間/単位	1515/75 単位時間/ 単位	120/6 単位時間/ 単位	1455/33 単位時間/ 単位	0/0 単位時間/ 単位	60/2 単位時間/ 単位
			3150 / 116 単位時間/単位				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	(旧課程) 3045 / 107 単位時間/単位	1515/73 単位時間/ 単位	90/4 単位時間/ 単位	1395/29 単位時間/ 単位	0/0 単位時間/ 単位	45/1 単位時間/ 単位
			3045 / 107 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110人		113人	0人	8人	110人	118人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>ディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラム・ポリシーを設定し、教育課程を編成している。例年1月に次年度の授業担当者を決定し、すべての授業担当者が現行の授業計画書（シラバス）を確認し、次年度に向けた授業計画を立てる。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目の単位は授業終了後（多くは各学期末）に行う定期試験に合格した者に対して、その取得を認定する。試験は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。60点未満の場合は、再試験を実施する。再試験が60点以上であれば、合格として単位取得を認める。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級基準を定めており、必要な科目数以上の単位を取得している者が進級できる。卒業は、学則に定められた単位を取得した者に対し、認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任は学生に対し定期的に面談を行い、必要があれば個別指導を行う。</p> <p>1、2学期末には成績判定委員会、学年末には進級判定委員会を開催し、個々の学生の成績を把握し検討する。この会議で成績が不良であると認めた学生に対して、本人と保護者に文書で通知し、個別指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	0 人 (0 %)	25 人 (100%)	0 人 (0 %)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>医療機関</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>学生が記入する『就職希望調査票』をもとに担任が個別面談を行い、学生が希望施設を絞り込めるように助言する。希望施設が決まったら、応募書類の書き方、就職試験対策などの個別指導を行う。</p> <p>3年生全体に向けた就職対策講座を年に3回開催している。</p> <p>1、2年生の希望者には就職を意識した施設見学を実施している。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>理学療法士国家試験 25名受験 25名合格 合格率 100%</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112 人	18 人	16.1 %
(中途退学の主な理由) 学業（実習を含む）の不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的な個人面談を実施し、学生の抱えている問題を把握することに努めている。全教職員が毎日学生の様子を見ており、教員間で情報を共有している。必要があれば学修の支援、生活指導等を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	作業療法学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	(新課程) 3180 / 118 単位時間 / 単位	1485/76 単位時間/ 単位	90/5 単位時間 /単位	1545/35 単位時間/ 単位	0/0 単位時間 /単位	60/2 単位時間 /単位
			3180 / 118 単位時間 / 単位				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	(旧課程) 3075 / 109 単位時間 / 単位	1470/74 単位時間/ 単位	30/2 単位時間 /単位	1530/32 単位時間/ 単位	0/0 単位時間 /単位	45/1 単位時間 /単位
			3075 / 109 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人	78 人	0 人	7 人	104 人	111 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>ディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラム・ポリシーを設定し、教育課程を編成している。例年1月に次年度の授業担当者を決定し、すべての授業担当者が現行の授業計画書（シラバス）を確認し、次年度に向けた授業計画を立てる。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業科目の単位は授業終了後（多くは各学期末）に行う定期試験に合格した者に対して、その取得を認定する。試験は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。60点未満の場合は、再試験を実施する。再試験が60点以上であれば、合格として単位取得を認める。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級基準を定めており、必要な科目数以上の単位を取得している者が進級できる。卒業は、学則に定められた単位を取得した者に対し、認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任は学生に対し定期的に面談を行い、必要があれば個別指導を行う。</p> <p>1、2学期末には成績判定委員会、学年末には進級判定委員会を開催し、個々の学生の成績を把握し検討する。この会議で成績が不良であると認めた学生に対して、本人と保護者に文書で通知し、個別指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0 %)	17 人 (100%)	0 人 (0 %)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>医療機関</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>学生が記入する『就職希望調査票』をもとに担任が個別面談を行い、学生が希望施設を絞り込めるように助言する。希望施設が決まったら、応募書類の書き方、就職試験対策などの個別指導を行う。</p> <p>3年生全体に向けた就職対策講座を年に3回開催している。</p> <p>1、2年生の希望者には就職を意識した施設見学を実施している。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>作業療法士国家試験 17名受験 17名合格 合格率 100 %</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	10 人	13.3 %
(中途退学の主な理由) 学業（実習を含む）の不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期的な個人面談を実施し、学生の抱えている問題を把握することに努めている。全教職員が毎日学生の様子を見ており、教員間で情報を共有している。必要があれば学修の支援、生活指導等を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法 学科	300,000 円	550,000 円	450,000 円	教育充実費 (年間)
作業療法 学科	300,000 円	550,000 円	450,000 円	教育充実費 (年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/2019_jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 評価委員会は実習施設の職員、関連職種、卒業生の代表で構成されている。 自己評価結果をもとに、以下の項目を評価している。(項目:教育理念・目的・育成人材等、学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境、学生の募集と受け入れ、法令等の遵守、社会貢献) 評価結果は次年度の事業計画を作成する際の検討事項としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
病院職員 理学療法士	2年	実習施設
病院職員 作業療法士	2年	実習施設、卒業生
病院職員 言語聴覚士	2年	実習施設、関連職種
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://r.kawasaki-m.ac.jp/info/document/2019_gakkoukankeisya.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://r.kawasaki-m.ac.jp/
--